

経済建設委員会会議録

平成23年7月20日	9時49分	開 会
	9時58分	閉 会

網 走 市 議 会

午前 9 時 49 分 開会

○佐々木委員長

時間になりましたので、経済建設委員会を開催いたします。本日の委員会は議件 1 件、東日本大震災による市内中小企業等への影響について報告いただきます。なお、委員会閉会后に農作物作況調査を開催しますので、委員会終了後、裏に停車しています議会バスのほうに搭乗願いたいと思います。

では報告のほうお願いいたします。

○井上経済部長

それでは 6 月 29 日の経済建設委員会で資料要求のありました、東日本大震災による市内中小企業等への影響調査ということで、これは 4 月に行った調査に続く 2 回目の調査ということでございまして、資料に沿いながらポイントに絞って説明をさせていただきます。

まず調査日につきましては、6 月 13 日から 17 日の間で、58 事業所に訪問調査並びに電話による聞き取り調査を行ったところでございます。

調査結果は表にまとめてございますけれども、まず製造・卸・小売業についてですが、この影響については当初一部品薄商品がありましたがこれについては回復しているということでございまして、ホテル関係との取引については影響がまだ続いているという状況もございます。

水産関係ですが、全般的には震災直後と比較をして大きな影響はないということでございますが、3 段目にありますとおり買い控えの影響もありまして魚価が低迷をしているという状況も出てきております。今後の予測といたしましてはカラフトマスあるいは秋サケの主な輸出先である中国での原料ニーズが見込まれるところでございますが、放射能の風評被害が一方で懸念されているという話が出ております。

続いて建設業でございしますが、土木関係について全般的に影響はございませんけれども、一部工事高が 5 月末で前年比 63% の企業あるいは元請工事の不足を下請け工事で補っている企業、また下期の工事発注状況等の懸念をしているといった企

業もあるという話でございます。建築の関係につきましては、資材の納期に時間が要するということがあります。流通については正常に戻っているということでございます。今後の予測のなかでは一番下には書いているとおり資材価格への影響が懸念をされるというお話がございました。

裏に移り観光関係でございます。ホテル関係については、震災以降のキャンセルは戻っていないということですが、5 月から 7 月にかけての道央圏からの修学旅行の宿泊予約が順調に入っているということでございまして、予約状況としては 6 月以降徐々に回復傾向にあるということですが、全体的にはまだ依然として厳しいというふうに言えるかと思えます。

一番下の観光施設関係ですが、入館者は徐々に回復をしているということでございますけれども、宿泊と同様、前年と比較するとまだ厳しい状況であるということでもあります。

今後の予測の中では、真ん中に書いておりますが高速道路の無料化が終了したということでの落ち込みが出てくるのではないかとということが非常に懸念をしているということでもあります。

それから運輸業であります。貸し切りバスについては回復基調にあるということで、最近市内を見ても観光バスの姿がかなり見られるようになってきているということでございます。しかし前年度の 65% と 7 月も 50% の予約ということで、回復基調にはあるけれどもまだまだ厳しいと言われております。今後の予測としては、2 段目に書いていますとおり J R 貨物路線の完全復旧が遅れているといった影響から野菜の出荷等に影響が出ないか非常に不安であるということでございます。

続いて飲食店でございますが、5 月の後半から来店客も徐々に回復をしてきているということでございますが状況としては厳しいと。一方で仕入れ値が値上がり傾向にあるということでございまして、今後については、21 日から始まりますあばしりオホーツク夏まつり、そうしたイベントの効果、さらには 6 月中旬から始まりました観光クーポンの効果に期待したいという声がございます。

農業関係については、震災の影響は出てきておりません。

清掃業関係ですが、現在徐々に仕事が入ってきているけれども相対的には厳しいというふうに聞き取りをしているところでございます。

以上ポイントに絞って説明させていただきましたが、後ほど資料を御一読いただければと思います。以上です。

○佐々木委員長

ありがとうございます。皆さんから何か聞きたいことはありませんか。

○平賀委員

調査の結果を受けて何らかの対策をどこかの時点で必要ならば検討するということですが、今の時点で何か検討なさっていることがあればお聞かせいただければと思います。

○井上経済部長

必要な対策については、これまでもお答えをしておりますとお手をつすべきことは手をつという観点で考えていきますけれども、現在のところそうした必要性というのはまだ出てきておりません。

現在まだひと月しかたっておりませんが、宿泊クーポン事業の進捗状況も含めて特に観光関連も含めて注視をしていきたいと考えております。

○平賀委員

わかりました。引き続き必要な政策が出たらその時点で検討していただきたいのですが、小売業だとか飲食業についてですけれども、今テレビで報道されておりますけれども福島を中心にさまざまな食べ物、牛肉だけでなくシイタケも出荷停止になってということで、これから多分拡大していくのだろうということが基本的には予測されるので、産地の表示だとかそういったことを積極的に早いうちにやったほうが多分いいと思います。その辺ぜひ飲食店あるいは小売業界さんのほうに市として対応を打ち出していただきたいと思うのですがどうですか。

○井上経済部長

原発事故発生以降、最近では福島から出た和牛

に対し、消費者から見ると非常に不信感が出てきているといった意味では、今委員から御指摘のあったようにある意味では消費者側から見て安心して食べられる産地表示の徹底というのが、今後観光客もふえてくるという中である意味では必要ではないかというふうに思いますので、そうした観点に立ちながら関係者とも今後に向けて協議をしていきたいというふうに考えます。

○平賀委員

わかりました。先ほどシイタケが出荷停止になったと申し上げましたが、多分それ以外のキノコ類にも広がっていくのだろうと思います。そういう動きも今調査していると聞いておりますので、引き続き必要な対応を積極的にやったほうがいいのだろうと思いますので、よろしく願いいたします。

○佐々木委員長

その他ございませんか。よろしいでしょうか。

(「ありません」の声あり)

○佐々木委員長

それでは報告は以上ということで。

そのほかに何か案件ございますか。

○大澤副市長

一件関連しますけれども、天都山展望台に入居しておりますレストラン流氷が今回の震災の影響と言いましようか、あそこは台湾のお客さんがかなりのウエイトで入っているという実態がありましたが、この7月で退去されるということになりました。私どもとしては引き続き営業をしていただけの方をとりあえず公募という形で今作業を進めています。そういった方が現れれば引き続き営業をあ場所でやっていただきたいということで進めていますので、とりあえずこのことを委員の皆様へ報告をしておきたいと思います。

○佐々木委員長

そのほか委員のほうから案件ございますか。

(「ありません」の声あり)

○佐々木委員長

ないようですので、以上で経済建設委員会を終了いたします。

午前 9 時 58 分 閉会